

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉市稲毛区西千葉計画 新	階数	地上14階
建設地	千葉県千葉市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一	平均居住人員	350 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2023年1月23日
敷地面積	4,613 m ²	作成者	長谷工コーポレーション
建築面積	1,674 m ²	確認日	2023年1月23日
延床面積	7,860 m ²	確認者	長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 道路前面の緑地帯等、周辺環境をデザインに取り込み、色彩計画や素材をまとめた。仕様としては断熱性能等級4取得予、複層ガラス採用、道路境界側に豊かな緑化計画を行い環境に配慮した計画とした。		その他
Q1 室内環境 ・ 界壁の壁厚を180mm以上とすることで、Dr-50を確保 ・ 住宅性能表示制度における断熱性能等級4相当 ・ 住戸の主開口面には庇(バルコニーを含む)及びカーテンレールを設置。	Q2 サービス性能 ・ 劣化対策等級3相当	Q3 室外環境(敷地内) ・ 千葉市の基準以上の緑化面積を確保した。
LR1 エネルギー ・ サッシに複層ガラスを採用。(空気層6mm) ・ エコジョーズを採用し、エネルギーの有効利用を図るとともに、省エネ等級4相当を確保し建物の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル ・ 内装の更新性に配慮し、二重天井、二重壁の採用。 ・ 共用部の給水管にステンレス鋼管を採用し、耐久性の向上を図った。	LR3 敷地外環境 ・ 住宅性能表示制度における省エネ等級4相当を満たす住宅を提供。 ・ 千葉市の緑化基準を上回る緑化に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される